

原 著

悪性リンパ腫に対する抗癌剤治療における 副作用の早期発見・予防を目的とした チェックシートの作成とその有用性に関する検討

刈羽郡総合病院、薬剤部；薬剤師¹⁾ 新潟医療センター、薬剤部；薬剤師²⁾、
長岡中央総合病院、薬剤部；薬剤師³⁾

栗林 友子¹⁾、廣瀬 龍樹¹⁾、阿部 佑子¹⁾、中村 裕²⁾、
平野 聡子¹⁾、徳原 弘道³⁾、押見 肇¹⁾、徳間 一夫¹⁾

目的：刈羽郡総合病院薬剤部（以下、当薬剤部）による、血液内科病棟における抗癌剤の服薬指導を行うにあたり、副作用の早期発見・予防のためのチェックシートを作成し、有効性についてその評価を行った。

方法：5例の悪性リンパ腫の患者自身から副作用のチェックシートを記載してもらい、感想を聴取した。

成績：副作用の経過を追うことができ、患者の症状の経過が把握しやすくなった。しかし、患者からチェックシートの記載方法についての質問を受けた。

結論：患者の正確な状態が把握でき、また患者情報の収集が必要最小限となりチェックシートは有用と思われる。今後、病棟スタッフにチェックシートを応用してもらうことが必要と思われる。

キーワード：悪性リンパ腫、抗癌剤治療、副作用チェックシート、副作用早期発見・予防

緒 言

当薬剤部では、回復期リハビリ病棟を除いた7つの病棟において服薬指導を行っている。その中で、血液内科は、まだ服薬指導を行っていなかった。

今回血液内科において服薬指導を行うことになったが、血液内科領域の知識不足と人員不足のため、指導準備にかなりの時間を要した。そこで、これらを改善するために次のような対策を立てた。①薬剤部内で勉強会を開催し、悪性リンパ腫についての知識を深める、②医師から服薬指導の依頼を前日にオーダーしてもらう、③患者用パンフレットの準備、とする(図1)。これにより服薬指導の準備の時間短縮と、服薬指導の標準化をはかった。パンフレットを用いて服薬指導を開始し、服薬指導件数が増えるにしたがって、徐々に副作用の発現時期が分かってきた。そして、高頻度で起こり予防可能な副作用に着目した。実際には、病棟においてカルテや看護記録のみで患者情報や副作用症状を把握していたので、知りたい情報の記載がないこ

ともあった。そして、患者本人に症状や発現時期を聞いてもあいまいなことがあり、正確な情報が把握できないこともあった。

そこで、副作用の早期発見・予防のため、また患者にも副作用について自ら関心を持って治療を受けてもらうために、患者自身が記入する副作用のチェックシートを作成(表1)し運用し始めたので報告する。

対 象 と 方 法

平成22年7月から10月までの4か月における、悪性リンパ腫の患者の中で抗癌剤治療副作用チェックシートの必要性を説明した上で承諾を得られた症例で、かつ自分で記載を継続できる方を対象とした。対象期間中5例の患者がチェックシートを記載し、すべての患者が入院中継続して記載できた。症例は男3人、女2人で、年齢構成は50~70才であった。

チェックシートは、化学療法の際に1枚に記入できるようにし、前回の治療中の状態が振り返りやすいように工夫した。

チェックシートの薬剤名、日付を薬剤部で記入し、副作用項目については患者本人から毎日シートに記入してもらう方法をとった。そして、いつでも記入できるように、用箋バサミに挟み常に患者のベッドサイドに置いた。

また、治療日には日付に赤丸を付けて、治療日でない日と分かりやすく区別できるようにした。

結 果

5例のうち1例のチェックシート記載結果については、表2. に記載した。

指導時訪室すると、自らチェックシートを見せながら自分の体調を説明される患者がいた。「退院後もチェックシートを継続したい」「前もってかつらを準備できて良かった」等の感想や「前回ここで浣腸をかけたから今度は下剤を増やしてみよう」等の計画的な発言があった。しかし、患者から「口内炎」や「便秘」

などの副作用の項目に対して、どの程度が口内炎なのか、はぐきが痛いのはどう書けばいいのか、等の記入方法に対する、質問も時々受けた。また、「記載するスペースが狭い」との訴えがあり、対象期間中にチェックシートを多少改良した。

薬剤部では、患者情報収集のためにカルテや看護記録を見る時間が短縮できた。服薬指導時にチェックシートがあるので副作用が一目で把握出来るようになった。

考 察

副作用チェックシートは、患者本人から記入してもらうため、患者の都合いい時にじっくり体調を振り返ってもらえることができるので、正確な患者の状態が把握できるようになった。また、チェックシートがあるため、病棟においてカルテや看護記録からの患者情報の収集が必要最小限になり、その分、指導に時間をかけることができるようになった。患者からも自らの副作用について感心を持ってもらえるため、作用チェックシートの使用は、患者にも薬剤師にも有用なものではないかと思われる。

一方、薬剤師が毎日患者と関わっていないため、副作用を見逃す危険があることも考えていくこと必要と思われる。

また、患者がチェックシートに記入しやすいように、記入方法を統一したり、項目はこのままでいいのか等を検討し、改良していくことが必要と思われる。

そして、病棟と連携して、薬剤師が関われない日でも、病棟スタッフからチェックシートを見てもらう必要性を感じた。

英 文 抄 録

Original article

Analysis of the effectiveness of our check sheet aiming at the early detection and prevention of side effects in the anticancer drug treatment against malignant lymphoma

Kariwa-gun General Hospital, Department of pharmacy ; pharmacist, ¹Niigata Medical Center, Department of pharmacy ; pharmacist, ²Nagaoka Central General Hospital ; Department of pharmacy ; pharmacist³

Tomoko Kuribayashi¹, Ryuki Hirose¹, Yuko Abe¹, Yutaka Nakamura², Satoko Hirano¹, Hiromiti Tokuhara³, Hajimu Osimi¹, Kazuo Tokuma¹

Objective : We made the check sheet for early detection of side effects of the anticancer drug treatment for hematological malignancies in Kariwa-gun General Hospital, and evaluated its efficacy.

Study design : We had inpatients check the sheet and, furthermore, heard their impression.

Results : Progress of side effects could be followed by the use of check sheet. However, the question how to write the check sheet was also received from the patient.

Conclusion : A patient's exact condition can be easily grasped by the use of our check sheet for side effects. It is necessary for our ward staffs to review the check sheet for side effects.

Key words : malignant lymphoma anticancer drug treatment, side effects, check sheet, early detection of side effects.

平成 22 年 7 月 26 日

刈羽 太郎 様

あなたがお受けになる治療について



G-CSF併用 biweekly CHOP療法

◆治療の内容(1クール)

「2週間毎」という意味です！

薬剤名	投与 時間	投与日(日付)														
		7/ 26	27	28	29	30	31	8/ 1	2	3	4	5	6	7	8	
ナゼア +生理食塩水	30分 (吐気止め)	○														
エンドキサン +生理食塩水	120分	○														
アドリアシン +生理食塩水	30分	○														
オンコビン +生理食塩水	側管	○														
プレドニン +生理食塩水	60分	○	○	○	○	○										
G-CSF(グラン またはノイトロジン)	皮下注射						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

図1. 悪性リンパ腫 G-CSF 併用した 2 週間毎に行う CHOP 療法患者用パンフレット

G-CSF : granulocyte-colony stimulating factor (顆粒球コロニー刺激因子)

CHOP 療法 : cyclophosphamide (エンドキサン)、hydroxydaunorubicin (アドリアシン)、oncovin (オンコビン)、prednisolone (プレドニゾロン) の 4 剤を用いた悪性リンパ腫の治療法

